

清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会より 検討内容の報告書が答申されました

清瀬市新校開設に向けた基本構想及び基本計画策定委員会（委員長：東洋大学名誉教授 長澤悟氏）は11月8日、「新校の基本構想及び基本計画に関する報告書」を、坂田篤教育長に答申しました。

同報告書は、8回にわたって開催された策定委員会における議論と共に、4回の市民ワークショップや教職員アンケート、清瀬小学校児童による「新しい学校プロジェクト」などで寄せられたご意見を参考に検討を重ねて取りまとめられたものです。

新たな時代が求める教育活動やそれを実現するための施設設備のあり方など、新校が果たすべき使命と役割を明確にしたうえで、建設の理念と施設計画の目標などを示す内容になっています。今後、市教育委員会は、この報告書を基に「新校開設に向けた基本構想及び基本計画」を検討し、策定していきます。今回は、策定委員会から答申を受けた報告書について紹介します。

☎教育企画課企画係 ☎042-497-2537



長澤委員長から坂田教育長に報告書が渡されました

基本構想及び基本計画策定委員会に寄せられたご意見



明るい中庭には、児童が育てた植物などがあり、校舎内からも自然が身近に感じられる。新しい校舎でも残したい！



市民みんなに親しまれるように、校舎は「けやき通り」の景観と調和したデザインにしてほしい！



校庭にあるイチヨウの大木は、清瀬小学校だけでなく、地域のシンボルツリーと言える。歴史を感じたり、観察や体験の場として大事にしてほしい！

学校づくりの目標 —ひとりひとりが安心して学び、ともに育つ教育環境の実現のために—

策定委員会では、寄せられた意見や今日的な学校づくりで抱える課題に対応していくために、新校の基本構想にあたる「学校づくりの目標」について検討し、以下の6項目にまとめました。

学び 学ぶ喜び、活動する意欲が湧く学校づくり

安全 安全・安心な学校施設づくり

生活 心地良く過ごせ、誰にも居場所のある学校づくり

環境 脱炭素社会に貢献する学校施設づくり

共創 地域とのつながりの中で学びが広がる学校づくり

参画 みんなでつくり、みんなで支える学校づくり